

病虫害発生予察情報

6 月月報

平成 21 年 7 月 14 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2009 年 6 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	24.3	-0.7	16.7	0.2	20.2	-0.3	22	69	27.9	54
中旬	26.0	0.9	17.6	-0.1	21.4	0.3	60	107	36.9	98
下旬	28.2	3.2	20.9	2.4	24.2	2.7	79	108	36.4	141
平均	26.2	1.2	18.4	0.8	21.9	0.9				
合計							161	100	101.2	86

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬はやや低く、中旬はやや高く、下旬は高かった。

降 水 量：上旬は少なく、中・下旬は平年並みであった。

日照時間：上旬は少なく、中旬は平年並みで、下旬は多かった。

<天候概況>

上旬：2日と7日は移動性の高気圧に覆われ晴れたが、その他の日は梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨となった。関東甲信越地方は6月10日ごろ梅雨したと見られる。

中旬：梅雨前線が日本の南海上で停滞したため、曇りや雨の日が多かった。

下旬：日本の南にある高気圧の影響で晴れる日もあったが、梅雨前線や低気圧の影響により曇りや雨の日が多かった。特に24日は前線上の低気圧が関東南岸を通過したため大雨となった。

2 作物生育概況

(1) イネ

6月上旬～中旬に苗の植え付けが行われた。植え付け後の苗の生育は概ね順調である。

(2) イモ類

サトイモの生育は順調であるが、ジャガイモは一部の地域でイモの肥大が劣る傾向にあった。

(3) 野菜

果菜類・豆類：露地トマト、キュウリ、ナスなどの果菜類の生育は概ね順調である。

スイートコーン、エダマメは気温が高めに経過したため、収穫期が1週間程度早まっている。

葉根菜類：キャベツは生育がやや早まっている。コマツナ、ホウレンソウなどの軟弱野菜の生育は概ね順調である。また、ダイコンの生育も順調である。

(4) 果 樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるブドウの開花期は、例年より早く、6月初旬に開花盛期をむかえていた巨峰、安芸クイーン、高尾他が5月下旬へと早まった。

(5) 茶 樹

降雨が適当にあり、生育は概ね順調であった。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病虫害

ナ シ

黒星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
シンクイムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

カ キ

カキクダアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
-----------	-------	-----------

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< やや多 >	予察灯およびフェロモントラップにおける誘殺数は平年に比べやや多から多であった。ナシ園への飛来は確認していない。
クサギカメムシ	< やや多 >	予察灯における誘殺数は平年に比べやや多から多であった。ナシ園への飛来は確認していない。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 並 >	発生は平年並であった。

(4) 野菜の病虫害

トマト

モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
疫病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< やや多 >	発生はやや多かった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ		
褐班病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ナ ス		
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
スイートコーン		
アワヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネ ギ		
黒班病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< 多 >	発生は多かった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キャベツ		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	< 並 >	発生は平年並であった。
(5)花きの病害虫		
キ ク		
キクスイカミキリ	< 並 >	発生は平年並であった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
(6)植木の病害虫		
街路樹など		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
プラタナスのプラタナスゲンバイ	< 並 >	発生は平年並であった。
トチノキのトチノキヒメヨコバイ	< 並 >	発生は平年並であった。
(7)島しょの病害虫		
八丈島：栽培植物全般でカタツムリ類が多く、野菜類全般でカタツムリおよびうどんこ病が多かった。		
大島・新島・神津島・三宅島および小笠原では多発の病害虫は認められなかった。		

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	6 月 12 日	7 月 9 日	0	0
大田市場	6 月 12 日	7 月 9 日	0	0
板橋市場	6 月 15 日	7 月 9 日	0	0
淀橋市場	6 月 15 日	7 月 9 日	0	0
足立青果市場	6 月 15 日	7 月 9 日	0	0
小平青果市場	6 月 8 日	7 月 7 日	0	0
八王子北野市場	6 月 8 日	7 月 7 日	0	0
昭島市場	6 月 8 日	7 月 7 日	0	0
国立市場	6 月 8 日	7 月 7 日	0	0
東久留米市場	6 月 8 日	7 月 7 日	0	0

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除方法
などをお知らせしています。